

次期総合計画策定に係る市民参画の概要

1 アンケート調査

- (1) 市民の声アンケート . . . 2
- (2) まちづくりアンケート . . . 9
- (3) ふるさとまちづくりアンケート . . . 12

2 市民ワークショップ

3 市民フォーラム

. . . 15

. . . 18



市民の声アンケート調査結果【概要】

1 はじめに

盛岡市では、令和7年度を始期とする次期盛岡市総合計画の策定に向けて、市民の皆さんの御意見を広く伺うために、「市民の声アンケート」を行いました。その調査結果を抜粋して、概要版としてまとめました。

2 調査概要

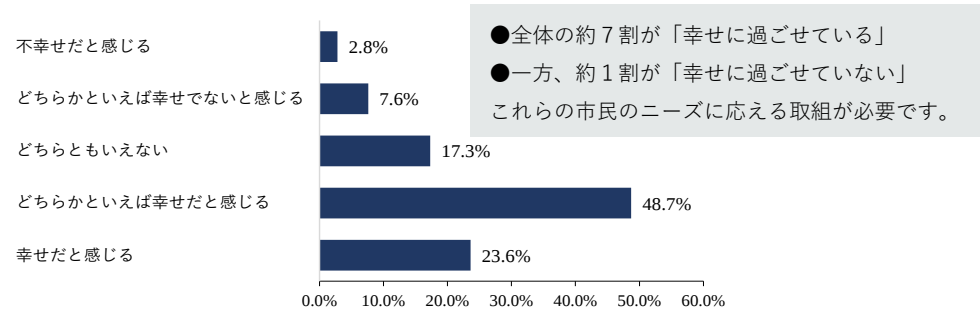
調査名	市民の声アンケート
調査対象	盛岡市に住民登録のある満15歳以上の市民 （令和5年9月30日現在の住民基本台帳から無 作為に抽出（同一世帯は除く）した満15歳以上 （中学生は除く））
標本数	3,000人
回答数・回答率	1,131人から回答（回答率 37.7％）
調査方法	無記名式の質問紙調査 郵送による配布 郵送またはwebによる回答
調査期間	令和5年11月1日から11月30日まで

総合指標		生活における幸福度
中間指標	基本目標	基本目標ごとの実感（4問）
中間指標	活動・行動	生涯学習に取り組んでいるか
		第三の居場所の有無
個別質問	設問1	盛岡市の将来像
	設問2	まちづくり
	設問3	産業・観光の振興
	設問4	教育・文化活動の充実
	設問5	保健・福祉・医療の充実
	設問6	少子化への対応
	設問7	高齢化への対応
	設問8	環境への対応
	設問9	都市の魅力創造
総合指標		生活における満足度
		盛岡市に住みたいか・その理由
施策ニーズ調査		施策の満足度・重要度（34問）
自由記載		市政への提案
属性		性別
		年齢
		職業区分
		通算居住年数
		世帯所得
		世帯構成
		配偶者有無
		同居家族
		子どもの有無

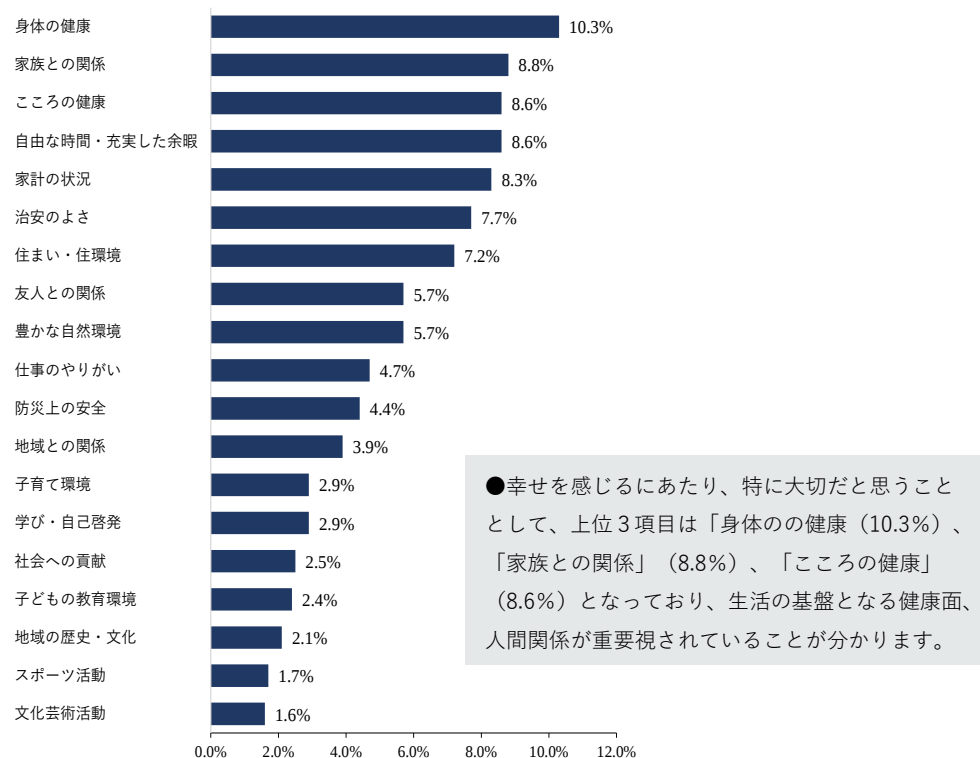
3 調査結果

問1 生活における「幸せ」について

問1-1 現在、あなたは幸せだと感じますか。(SA)

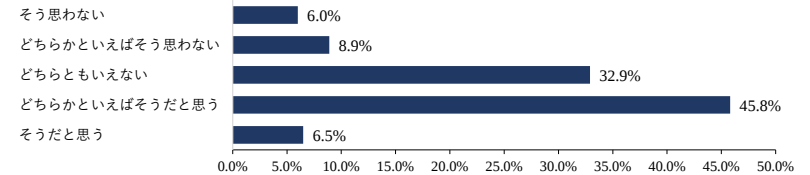


問1-2 幸せを感じるにあたり、特に大切だと思う項目は何ですか。(MA)

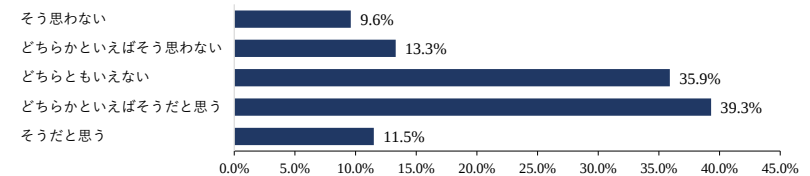


問2 盛岡市の印象について

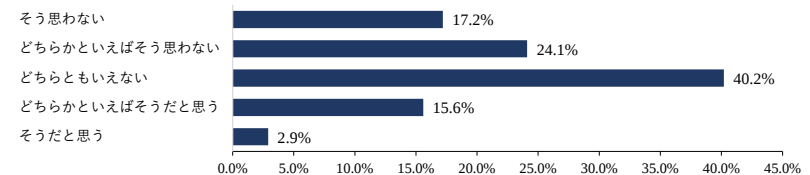
問2-1 市民一人一人が笑顔で暮らせるまちだと思いますか。(SA)



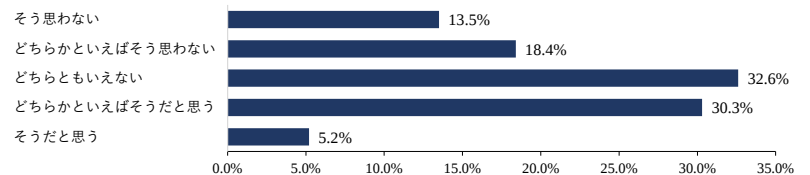
問2-2 都市の魅力が磨かれ、選ばれるまちだと思いますか。(SA)



問2-3 次世代へと繋ぐまちづくりが進んでいると思いますか。(SA)



問2-4 人が集い賑わいのあるまちだと思いますか。(SA)



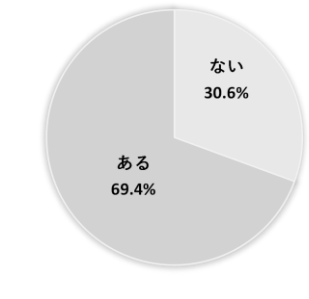
●問2-1「市民一人一人が笑顔で暮らせるまち」、問2-2「都市の魅力が磨かれ、選ばれるまち」は約5割が肯定的な意見でした。

●問2-3「次世代へと繋ぐまちづくり」、問2-4「人が集い賑わいのあるまち」は4～5割ほどが否定的な意見でした。

📌 関連する施策との相関関係を分析しながら、取組の不足している施策を推進することが望まれます。

問3 普段の過ごし方について

問3-1 あなたは、余暇に取り組む趣味などがありますか。（SA）

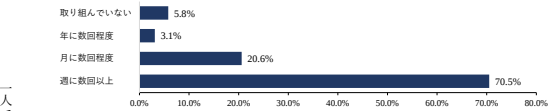


[ある]と回答した方にお聞きします。以下の取組の内容について、それぞれ最も近い頻度をお答えください。（MA）

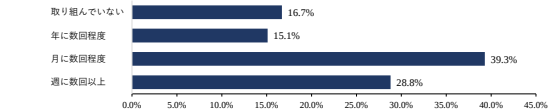
取組の内容

一人で
行うもの

屋内で行うもの
（例：読書、テレビ・動画視聴、料理、資格・語学などの学習、体力トレーニングなど）

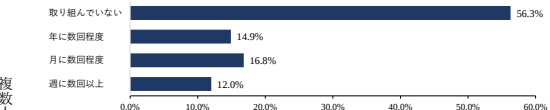


屋外で行うもの
（例：さんば、釣り、ソロキャンプ、飲食店巡り、サイクリングなど）

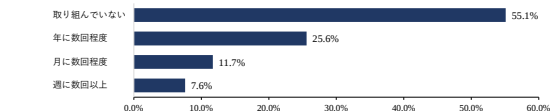


複数人
で行うもの

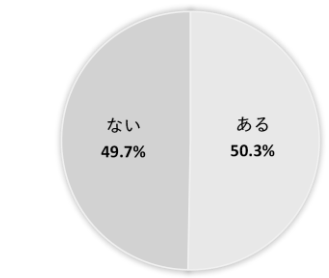
屋内で行うもの
（例：合唱・合奏、舞踏・伝統芸能、屋内スポーツなど）



屋外で行うもの
（例：屋外スポーツ、ツーリング、アウトドアレジャーなど）



問3-2 あなたには、家と職場以外の日常生活で訪れる第三の居場所がありますか。（SA）



「余暇に取り組む趣味」、「第三の居場所の有無」いずれにおいても相関分析の結果、幸福感や生活満足度と有意に相関関係がありました。

市にできる取組としては、生涯学習や市民講座の機会の拡充や、まちなかの空き店舗への支援や地域コミュニティ支援などが考えられます。

機会や居場所を増やすことで、市民の生活における充足感を総合的に満たしていくことが望まれます。

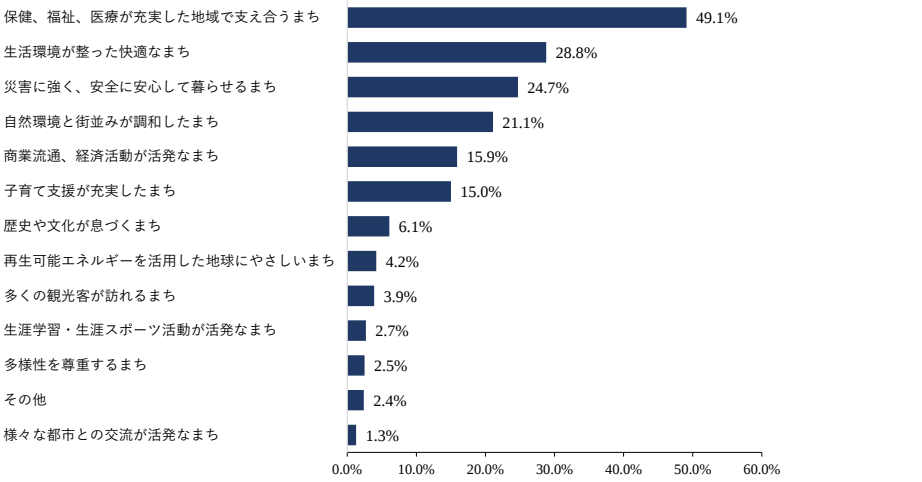
●問3-1「あなたは、余暇に取り組む趣味などがありますか。」に対して、「ない」（30.6%、「ある」（69.4%）の結果でした。

概ね余暇の過ごし方に何かしらの趣味を充てていることが分かります。

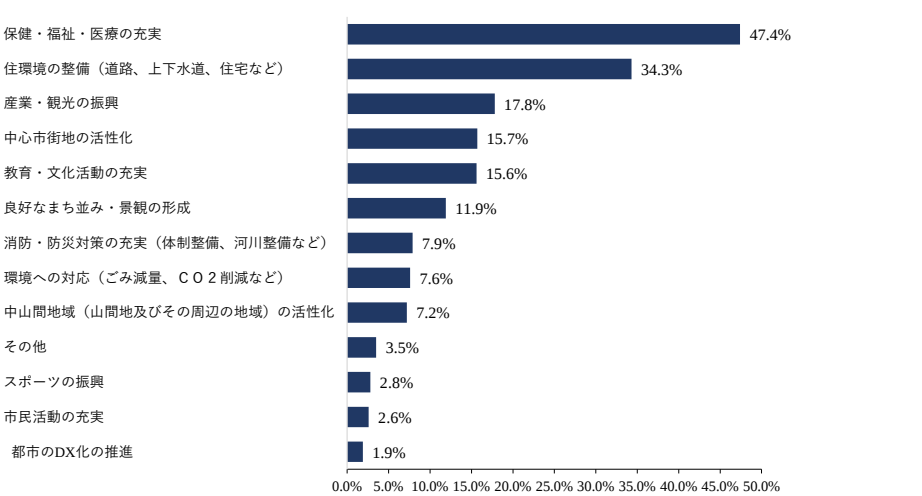
趣味の内容としては、複数人で行うものより、一人でやるものの頻度が高い傾向にあります。

問4 盛岡市の将来像について

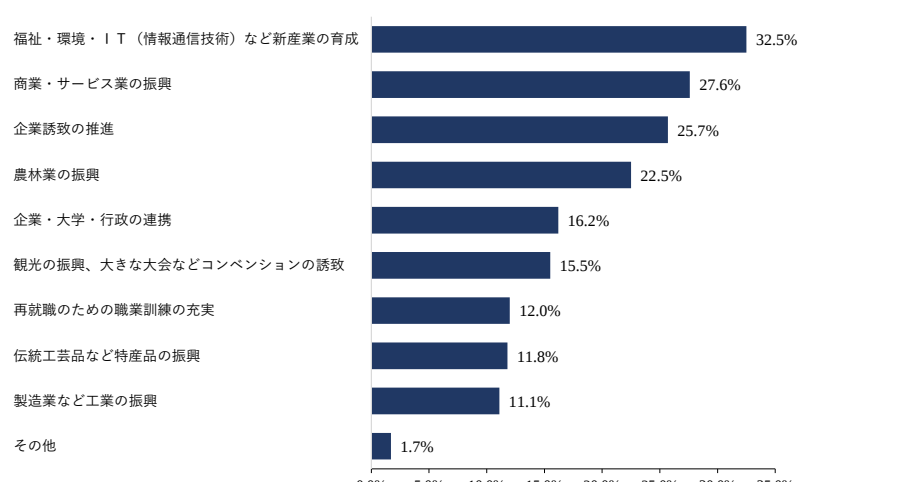
問4-1 盛岡市が10年後、どのようなまちであってほしいと思いますか。2つ以内をお選びください。（MA）



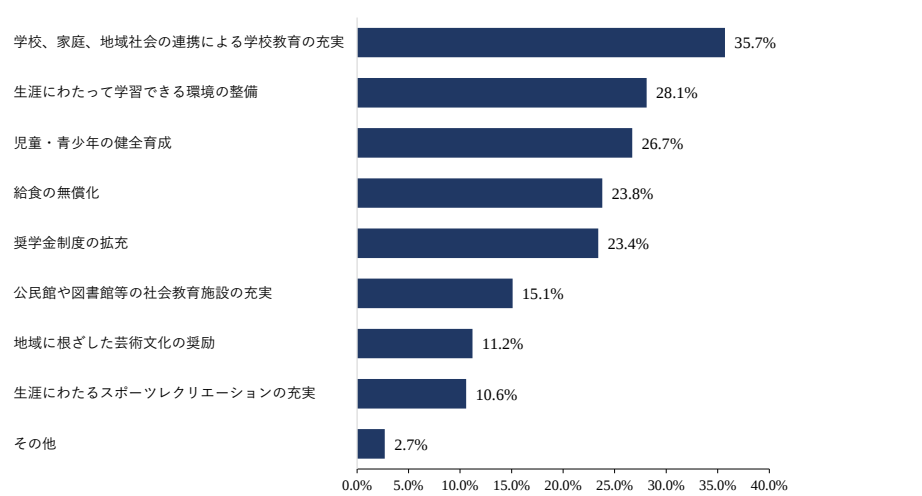
問4-2 これからのまちづくりに当たって、盛岡市ではどのようなことに力を入れていくべきだとお考えですか。2つ以内をお選びください。（MA）



問4-3 活力ある産業活動を促進するために、積極的に取り組むべきことは何だとお考えですか。2つ以内をお選びください。（MA）

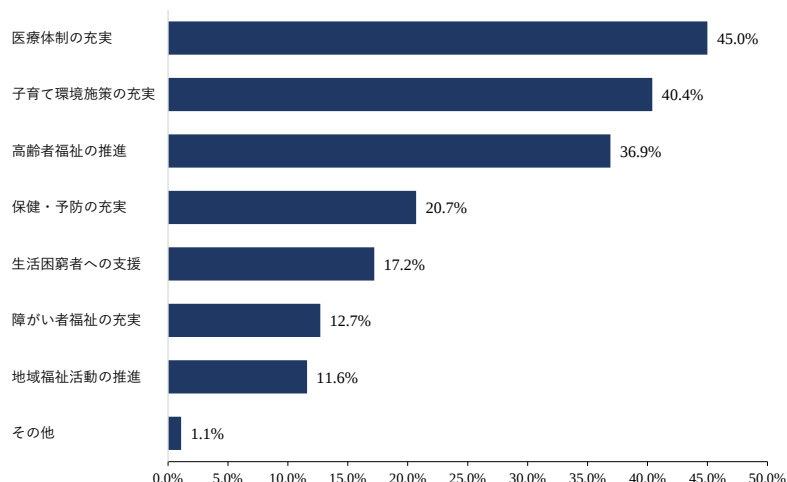


問4-4 教育・文化の分野で、どのようなことに力を入れていくべきだとお考えですか。2つ以内をお選びください。（MA）

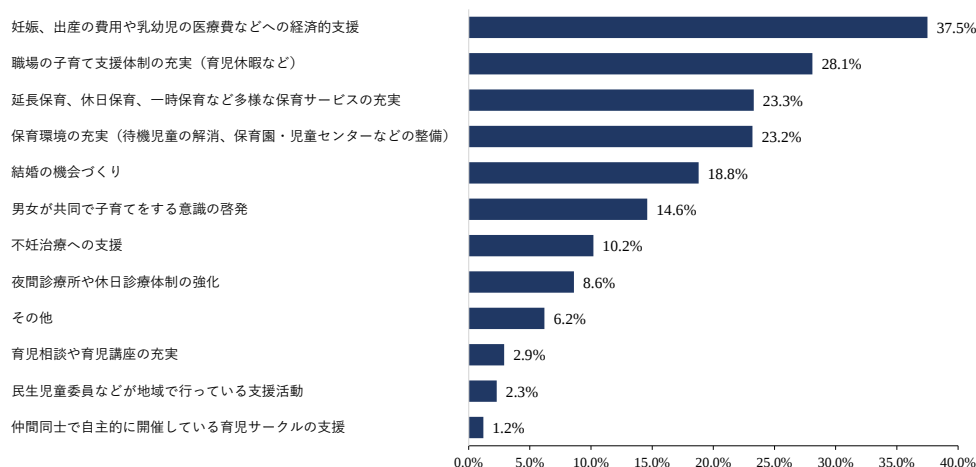


問4 盛岡市の将来像について

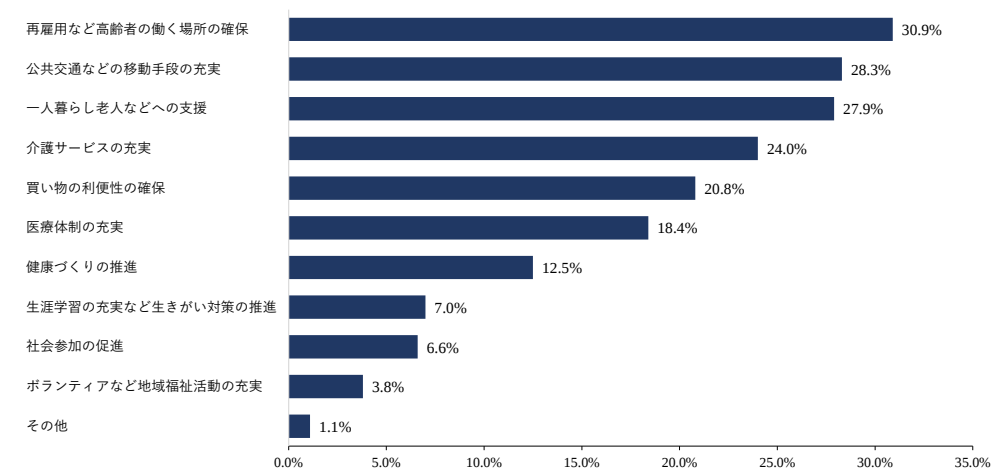
問4-5 保健・福祉・医療の分野で、どのようなことに力を入れていくべきだとお考えですか。2つ以内をお選びください。（MA）



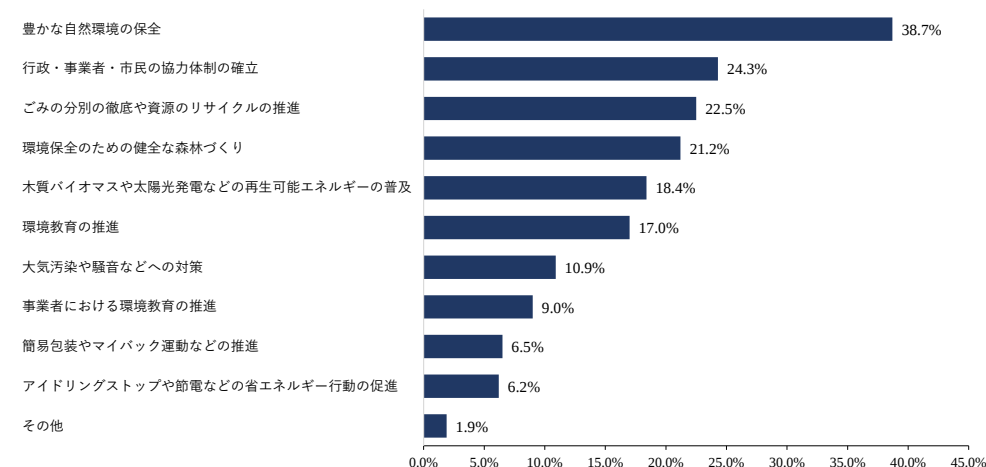
問4-6 少子化対策として何が必要だと思いますか。2つ以内をお選びください。（MA）



問4-7 高齢社会への対応として、どのようなことに積極的に取り組むべきだとお考えですか。2つ以内をお選びください。（MA）

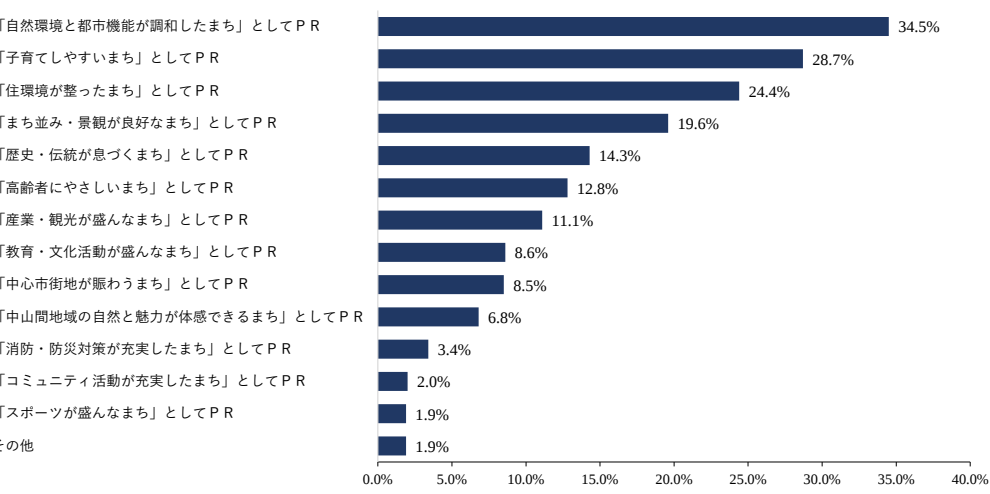


問4-8 環境を守る取り組みとして、どのようなことに積極的に取り組むべきだとお考えですか。2つ以内をお選びください。（MA）



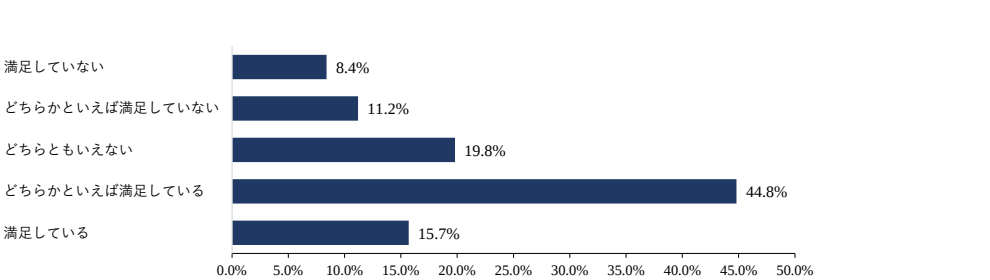
問4 盛岡市の将来像について

問4-9 どのような魅力を市内外にPRしていくべきだとお考えですか。次の中から2つ以内をお選びください。(MA)



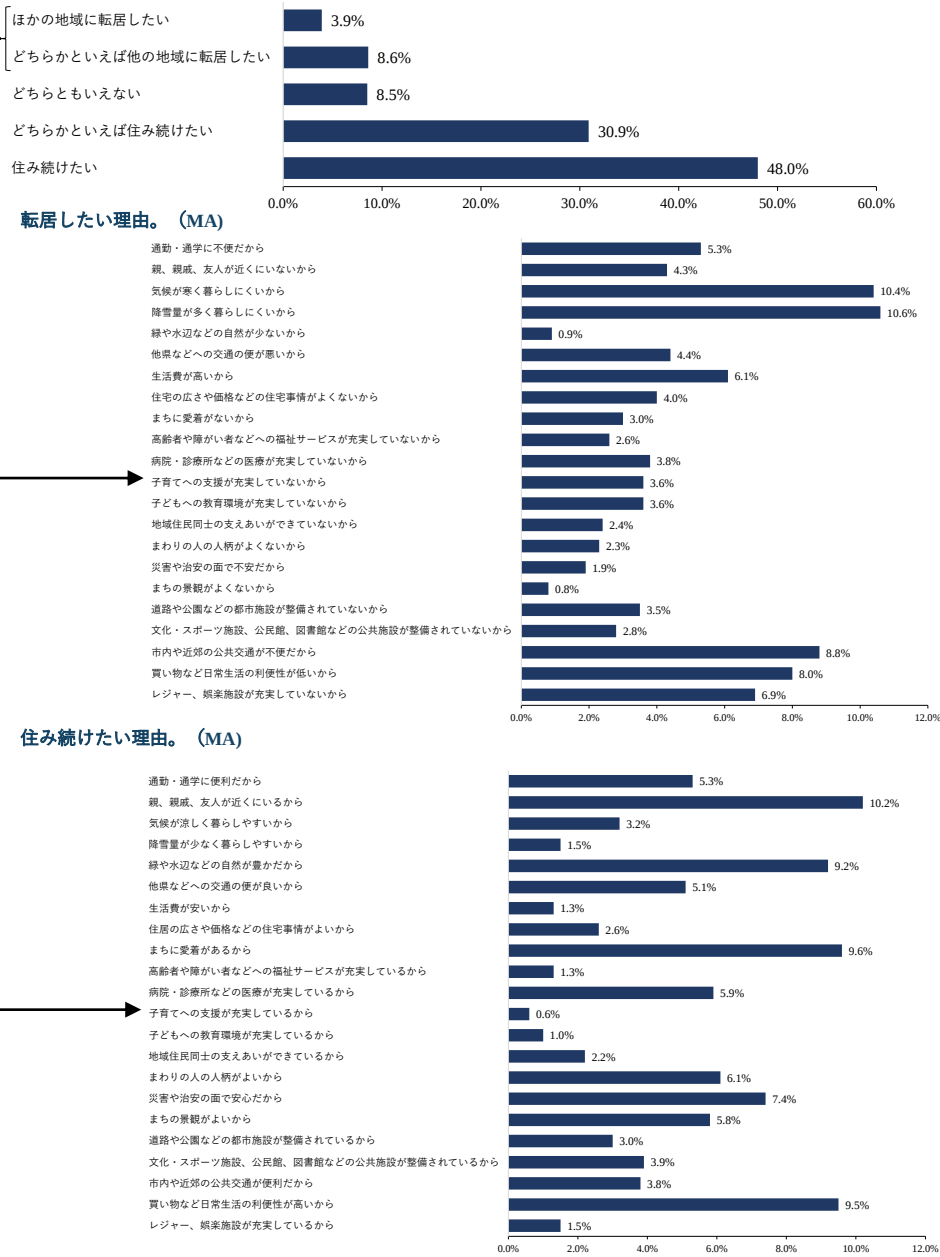
問5 盛岡市での生活について

問5-1 現在の生活に満足していますか。(SA)



- 問5-1 全体の約6割が「生活に満足している」
 - 問5-2 全体の約8割が「これからも住み続けたい」
- 居住年数が長いほど、定住志向が高い傾向があります。

問5-2 これからも盛岡市に住み続けたいと思いますか。(SA)



問6 盛岡市の取組についての満足度・重要度

問 現在の市の取組（施策）について、どれくらい満足していますか。また、その取組（施策）は今後どれくらい重要だと思いますか。1～34の取組ごとの満足度、重要度ごとに、あてはまる項目をそれぞれ選択してください。（SA）

※本設問は、29の施策に関してそれぞれ満足度・重要度を問うものですが、ダブルバーレル（1つの設問文の中で複数の内容を問うこと）を避けるために設問を34個に分解しています。

- 満足度の点数化は、「とても不満」（1点）～「とても満足」（5点）、「分からない」（0点）
- 重要度の点数化は、「全く重要ではない」（1点）～「とても重要」（5点）、「分からない」（0点）。

●「重要度」と「満足度」の差から「ニーズ度」を求めました。

●満足度の上位5項目は

問28「大学や公的研究機関などとの連携や、新事業創出や起業の支援など、工業の振興への取組」（4.08点）

問14「大気汚染・水質汚濁・騒音の監視の取組」（4.06点）

問22「生涯学習に係る各種講座の開設や学習機会や情報の提供の取組」（4.05点）

問8「生活困窮者が自立して安定した暮らしができる取組」（4.03点）

問24「エネルギーの有効利用や廃棄物の発生抑制など、環境への負荷を軽減する取組」（4.02点）

●重要度の上位5項目は

問12「防災や防犯の充実など安心して暮らすことができるまちづくりの取組」（4.35点）

問2「安心して出産・子育てができ、子どもが健やかに成長できる取組」（4.34点）

問30「雇用対策の取組」（4.32点）

問6「すべての人が必要な医療サービスを受けられる取組」（4.27点）

問28「大学や公的研究機関などとの連携や、新事業創出や起業の支援など、工業の振興への取組」（4.24点）

取組（施策）	満足度平均(A)	重要度平均(B)	ニーズ度(B-A)	ニーズ順位
30- 雇用対策の取組	3.59	4.32	0.73	1
31- 道路や橋りょう、公園、上下水道施設などの都市基盤施設の適切な維持管理と機能強化の取組	3.44	4.15	0.71	2
32- 環境にやさしく快適な交通環境を整える取組	3.45	4.06	0.61	3
6- すべての人が必要な医療サービスを受けられる取組	3.79	4.27	0.48	4
12- 防災や防犯の充実など安心して暮らすことができるまちづくりの取組	3.88	4.35	0.47	5
27- 賑わいのある商店街の形成に向けた取組	3.45	3.91	0.46	6
11- 自然災害や火災などあらゆる危機に対し強いまちを目指した取組	3.72	4.14	0.42	7
2- 安心して出産・子育てができ、子どもが健やかに成長できる取組	3.95	4.34	0.39	8
21- 小中学校の教育内容や施設の整備の充実への取組	3.74	4.13	0.39	8
1- 支援を必要とする人が適切な福祉サービスを受けられる取組	3.78	4.12	0.34	10
23- 若い世代へ就業や職場定着などに係る情報提供や各種支援の取組	3.69	4.03	0.34	10
4- 高齢者が健康で生きがいを持ち安心して暮らすことができる取組	3.84	4.13	0.29	12
3- 困難を抱える若者が自立できるよう支援する取組	3.80	4.08	0.28	13
25- 地域特性を生かした、農作物の地産地消の取組	3.70	3.96	0.26	14
18- 盛岡の価値や魅力を育み、市内外へ発信する取組	3.74	3.98	0.24	15
5- 健康診断・検診など健康寿命を延ばす取組	3.70	3.92	0.22	16
24- エネルギーの有効利用や廃棄物の発生抑制など、環境への負荷を軽減する取組	4.02	4.21	0.19	17
26- 市産木材の需要拡大に向けた取組	4.02	4.21	0.19	17
8- 生活困窮者が自立して安定した暮らしができる取組	4.03	4.22	0.19	19
29- 観光地として魅力があふれるための取組	3.58	3.76	0.18	20
28- 大学や公的研究機関などとの連携や、新事業創出や起業の支援など、工業の振興への取組	4.08	4.24	0.16	21
20- 地域の特性を生かした土地利用の計画、管理の取組	3.95	4.08	0.13	22
7- 障がい者が地域の一員として安心して暮らすことができる取組	3.98	4.08	0.10	23
19- 盛岡らしい景観の形成・維持への取組	3.68	3.77	0.09	24
14- 大気汚染・水質汚濁・騒音の監視の取組	4.06	4.14	0.08	25
9- 人権尊重や平和の尊さの意識啓発の取組	3.97	4.02	0.05	26
13- 町内会・自治会が持続的な活動を展開できるような取組	3.62	3.66	0.04	27
10- 性別に関わりなく誰もが能力と個性を発揮できる社会実現に向けた取組	4.00	4.02	0.02	28
17- スポーツ・レクリエーションを楽しむ機会の確保や施設整備の取組	3.76	3.75	-0.01	29
22- 生涯学習に係る各種講座の開設や学習機会や情報の提供の取組	4.05	3.97	-0.08	30
33- 異文化にふれ国際交流に参加する機会の充実を図る取組	3.91	3.81	-0.10	31
16- 芸術文化に親しむ機会を確保する取組	3.94	3.82	-0.12	32
15- 文化財の保護や活用を図る取組	3.99	3.85	-0.14	33
34- 市民とさまざまな都市や地域の人々との交流を促進する取組	3.92	3.72	-0.20	34

まちづくりアンケート調査結果 【概要】

1 はじめに

盛岡市では、令和7年度を始期とする次期盛岡市総合計画の策定に向けて、盛岡市内で活動している各種団体や事業所の代表者に皆様において認識している、本市の現況や目指す将来像を把握することを目的としてアンケート調査を行いました。その調査結果を抜粋して、概要版としてまとめました。

2 調査概要

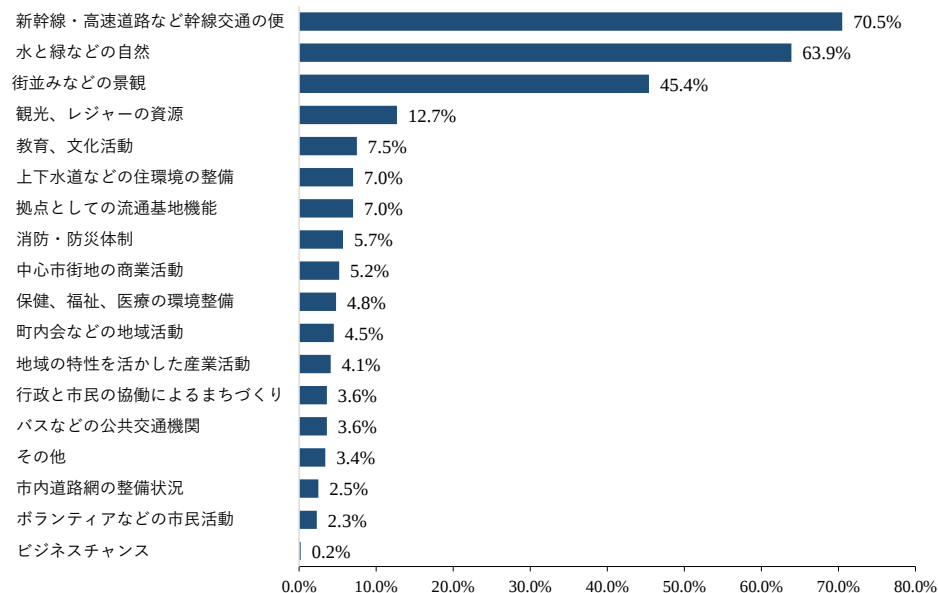
調査名	まちづくりアンケート
調査対象	盛岡市内で活動している各種団体や事業所のうち抽出された団体 ・教育・文化（学校、文化関係、協議会等） ・経済・労働（金融機関、企業、農業関係、組合等） ・医療・福祉（社会福祉施設、医療機関、保育園等） ・ボランティア・NPO ・町内会・自治会 ・報道機関等
標本数	847団体
回答数・回答率	441団体から回答（回答率 52.1％）
調査方法	無記名式のweb調査 郵送による配布 webによる回答 (一部質問紙配布及び郵送による回答を併用)
調査期間	令和5年11月1日から11月30日まで

設問1	盛岡市の現況（優れているところ、力を入れて
設問2	いくところ）
設問3	盛岡市の将来像
設問4	考慮すべき社会の動向
設問5	まちづくりへの提言（自由記載）

3 調査結果

問1 盛岡市の現状等について

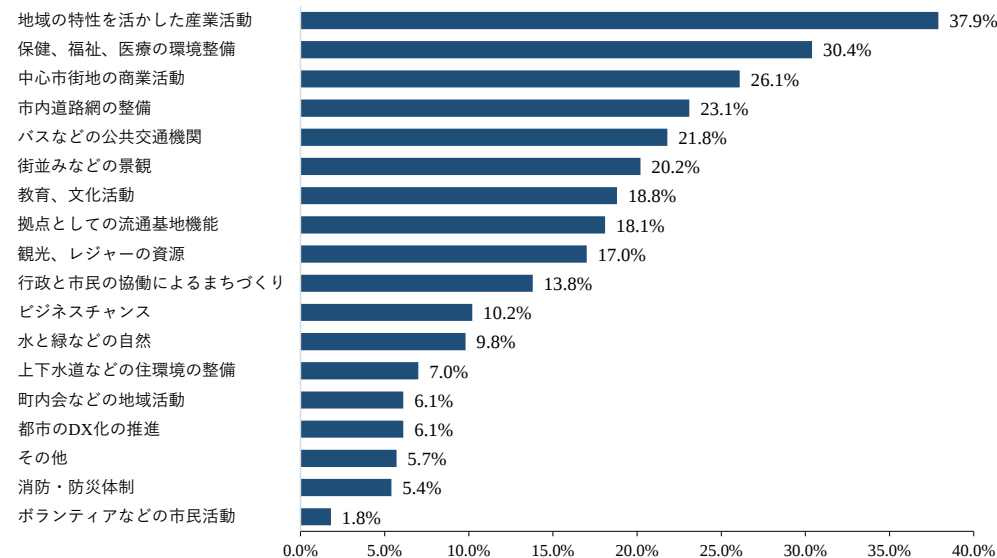
問1-1 東北の各都市と比較した場合、盛岡市が優れていると思われるところはどんな点ですか。次の中から3つ以内をお選びください。（MA）



●問1-1 「盛岡市が優れていると思われるところ」として、最も多く選択されている選択肢は「新幹線・高速道路など幹線交通の便」（70.5%）、次いで「水と緑などの自然」（63.9%）、「街並みなどの景観」（45.4%）が続く。前回（平成25年11月実施）の調査の順位と、4位を除き同様となっています。

4位は「観光、レジャーの資源」（12.7%）となっており、本調査を実施した令和5年1月に、ニューヨーク・タイムズ紙「2023年に行くべき52カ所」の一つに本市が選ばれたことが結果に作用している可能性があります。

問1-2 盛岡市では今後どのようなことに力を入れていくべきだとお考えですか。次の中から3つ以内をお選びください。（MA）

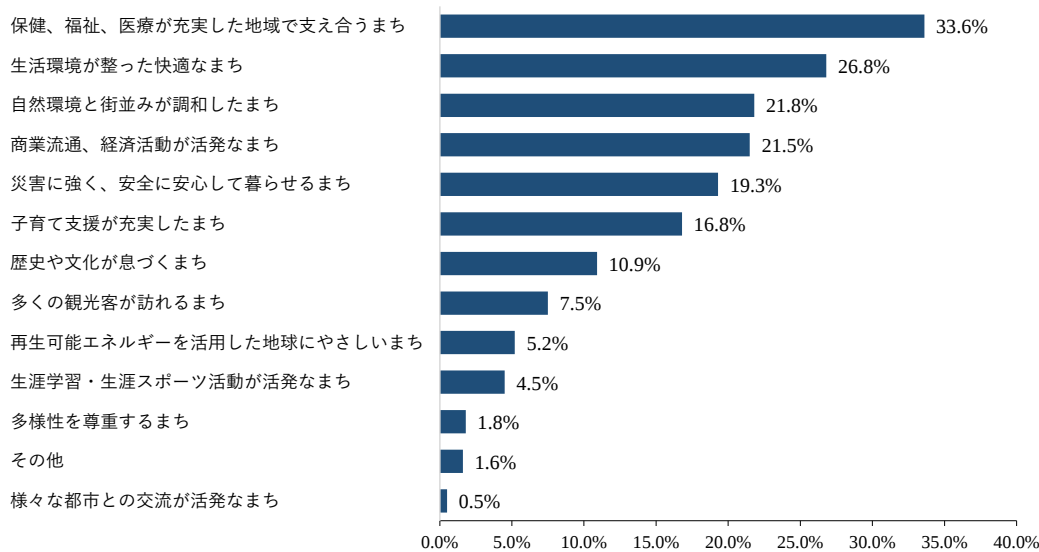


●問1-2 「今後どのようなことに力を入れていくべきか」として、最も多く選択されている選択肢は「地域の特性を活かした産業活動」（37.9%）、次いで「保健、福祉、医療の環境整備」（30.4%）、「中心市街地の商業活動」（26.1%）が続く。前回の調査を2位と3位の順位が入れ替わっていることに加え、5位に「バスなどの公共交通機関」（21.8%）が位置し、バスの減便や運転士の担い手不足など公共交通を取り巻く厳しい現状が意見に反映されたものと考えられます。

3 調査結果

問2 盛岡市の将来像について

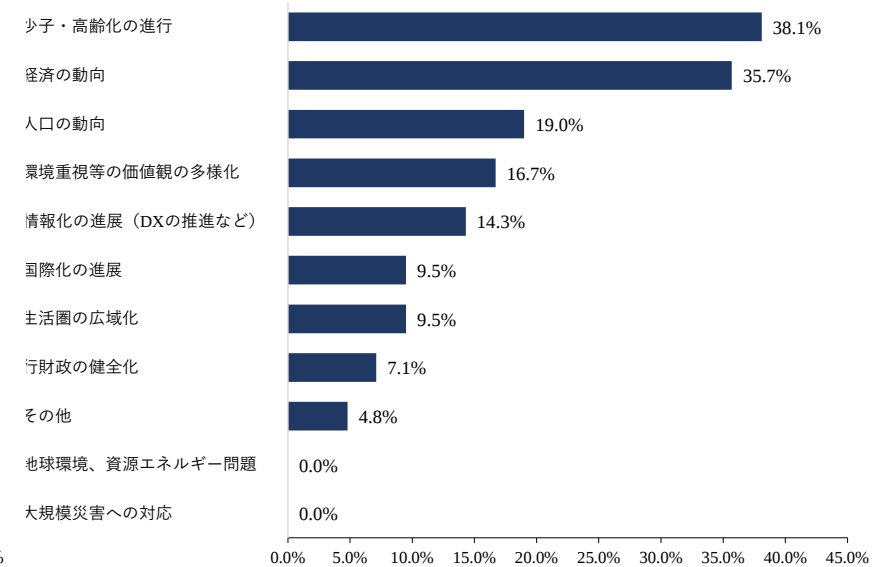
問 盛岡市が10年後、どのようなまちであってほしいと思いますか。次の中から2つ以内をお選びください。（MA）



●問2 最も多く選択されている選択肢は「保健、福祉、医療が充実した地域で支え合うまち」（33.6%）、次いで「生活環境が整った快適なまち」（26.8%）、「自然環境と街並みが調和したまち」（21.8%）が続きます。

問3 考慮すべき社会の動向について

問 盛岡の将来像を考える場合、最も考慮しなければならない社会の動向は何だとお考えですか。次の中から2つ以内をお選びください。（MA）



●問3 「考慮すべき社会の動向」として、最も多く選択されている選択肢は「少子・高齢化の進行」（38.1%）、次いで「経済の動向」（35.7%）、「人口の動向」（19.0%）が続きます。本問については1～3位まで前回調査と同様でしたが、4位以下は若干の変動があり、今回調査から新たに設けた選択肢、「情報化の進展（DXの推進など）」（14.3%）が5位に位置しています。

ふるさとまちづくりアンケート調査結果 【概要】

1 はじめに

盛岡市では、令和7年度を始期とする次期盛岡市総合計画の策定に向けて、盛岡市に理解があり、外から見た評価・意見が可能な市外在住者において認識している、本市の現況や目指す将来像を把握することを目的としてアンケート調査を行いました。その調査結果を抜粋して、概要版としてまとめました。

2 調査概要

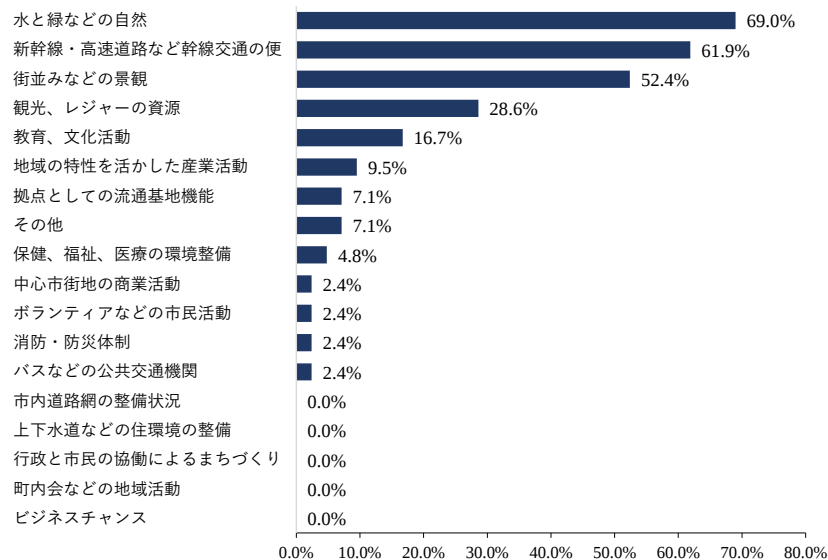
調査名	ふるさとまちづくりアンケート
調査対象	盛岡市に理解があり、外から見た評価・意見が可能な市外在住者 ・みちのく盛岡ふるさと大使 ・東京盛岡ふるさと会会員から抽出された会員 ・在京盛岡広域産業人会会員（盛岡）から抽出された会員
標本数	300人
回答数・回答率	42人から回答（回答率 14.0％）
調査方法	無記名式のweb調査 郵送による配布 webによる回答
調査期間	令和5年11月1日から11月30日まで

設問1	盛岡市の現況（優れているところ、力を入れて
設問2	いくところ）
設問3	盛岡市の将来像
設問4	考慮すべき社会の動向
設問5	まちづくりへの提言（自由記載）

3 調査結果

問1 盛岡市の現状等について

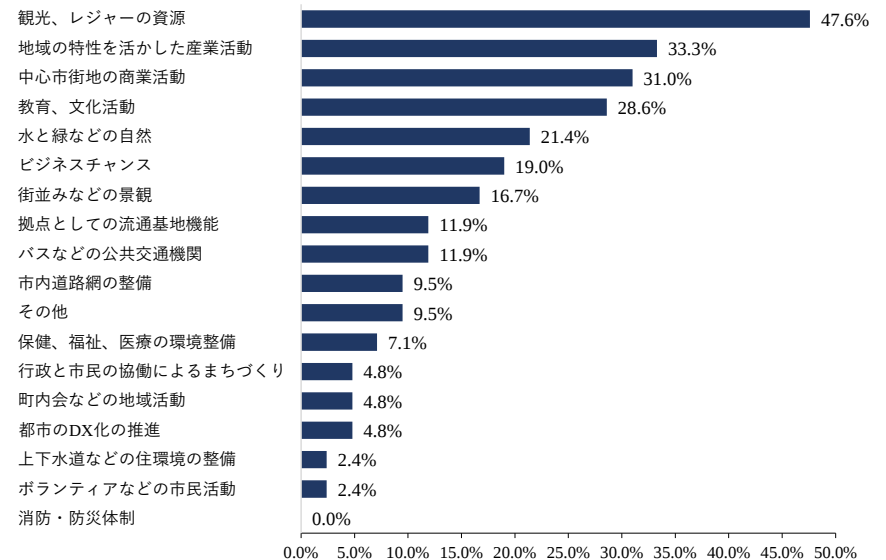
問1-1 東北の各都市と比較した場合、盛岡市が優れていると思われるところはどんな点ですか。次の中から3つ以内をお選びください。(MA)



●問1-1 盛岡市が優れていると思われるところとして、最も多く選択されている選択肢は「水と緑などの自然」(69.0%)、次いで「新幹線・高速道路など幹線交通の便」(61.9%)、「街並みなどの景観」(52.4%)が続いています。

前回(平成25年11月実施)の調査を1位と2位の順位が入れ替わっているものの、4～5位は同じ設問が同順位になっています。

問1-2 盛岡市では今後どのようなことに力を入れていくべきだとお考えですか。次の中から3つ以内をお選びください。(MA)



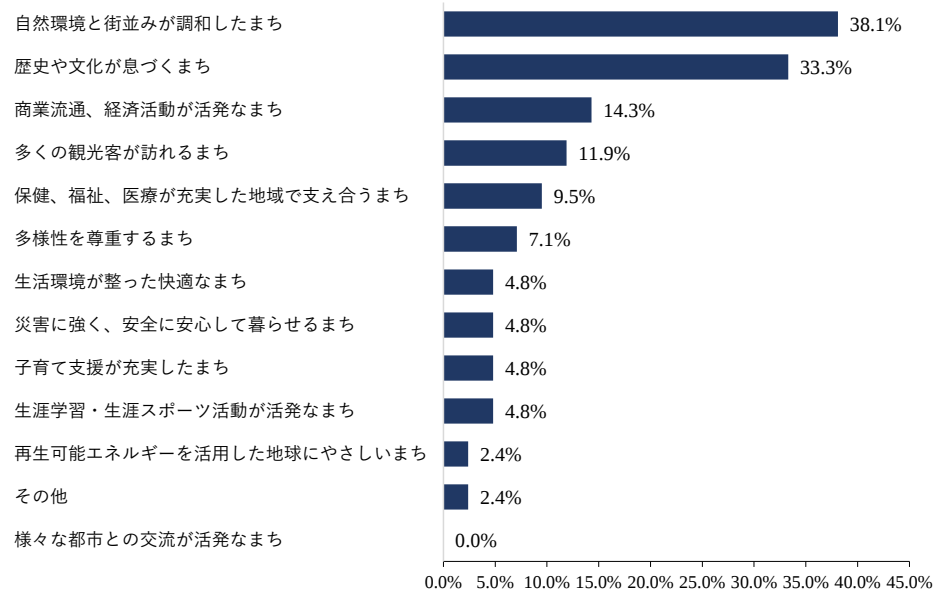
●問1-2 今後どのようなことに力を入れていくべきかとして、最も多く選択されている選択肢は「観光、レジャーの資源」(47.6%)、次いで「地域の特性を活かした産業活動」(33.3%)、「中心市街地の商業活動」(31.0%)が続いています。

問1-1と同様に、前回の調査から1位と2位の順位が入れ替わっていることに加え、前回には5位以内になかった「水と緑などの自然」(21.4%)が加わっています。

3 調査結果

問2 盛岡市の将来像について

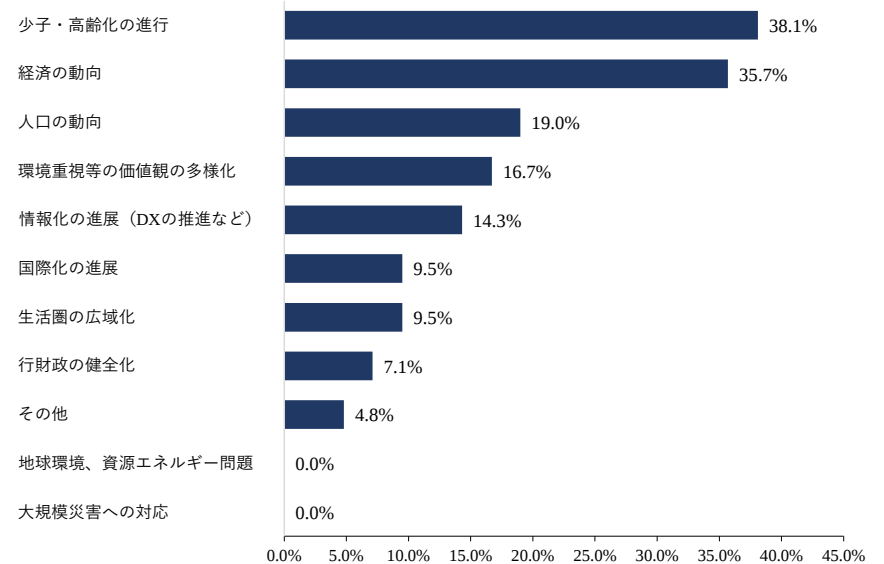
問 盛岡市が10年後、どのようなまちであってほしいと思いますか。次の中から2つ以内をお選びください。（MA）



●問2 「自然環境と街並みが調和したまち」（38.1%）、次いで「歴史や文化が息づくまち」（33.3%）、「商業流通、経済活動が活発なまち」（14.3%）が続きます。本問については1～5位まで前回調査と同様の結果でした。

問3 考慮すべき社会の動向について

問 盛岡の将来像を考える場合、最も考慮しなければならない社会の動向は何だとお考えですか。次の中から2つ以内をお選びください。（MA）



●問3 考慮すべき社会の動向として、最も多く選択されている選択肢は「少子・高齢化の進行」（38.1%）、次いで「経済の動向」（35.7%）、「人口の動向」（19.0%）が続いています。本問については1～3位まで前回調査と同様でしたが、4位以下は若干の変動があり、今回調査から新たに設けた選択肢、「情報化の進展（DXの推進など）」（14.3%）が5位に位置しています。

市民ワークショップ開催結果 【概要】

1 はじめに

盛岡市では、令和7年度を始期とする次期盛岡市総合計画の策定に向けて、市民の皆さんに御参加いただき、グループごとの意見交換などを行いながら盛岡の未来を共に考え、より魅力あるまちづくりについて考えるための、ワークショップを開催しました。

タイトル『もりおか未来創造ミーティング』

2 開催日時・参加人数

開催日	曜日	開催時間	会場	参加人数
令和5年11月11日	土	9時30分～12時	盛岡市役所本庁舎	17
令和5年11月25日	土	14時～16時30分	太田地区活動センター	10
令和5年11月28日	火	18時30分～20時30分	いわて県民情報交流センター	9
令和5年12月3日	日	10時～12時	いわて県民情報交流センター	10
令和5年12月9日	土	14時～16時30分	盛岡市役所都南分庁舎	12
令和5年12月16日	土	14時～16時30分	渋民公民館大会議室	16
令和5年12月17日	日	13時30分～16時30分	盛岡という星でBASE STATION	17

3 開催概要

タイトル『もりおか未来創造ミーティング』

●次期総合計画を策定にあたり、現状の課題や今後の具体的な取り組みを含めて「こうありたいな」「こうなったらいいな」等をグループワークで話し合い、ポスターセッション形式でまとめを行いました。

●グループワークに先立ち、参加者一人ひとりの幸福について振り返るために、幸福カルテを活用して、一人一人の価値観を振り返ると共に、視点を上げる工夫を行いました。

●学生が参加した会では、対話型自治体シミュレーションゲーム「SIMulationMorioka」を活用し、模擬自治体での事業選択などを体験して、市の取組を自分たちのこととして実感してもらうための工夫をしました。



グループワークでまちづくりのアイデアをブレスト



ポスターセッションでアイデア・意見を共有



中学・高校生によるまちづくりのアイデア



対話型自治体シミュレーションゲームでアイデア出し

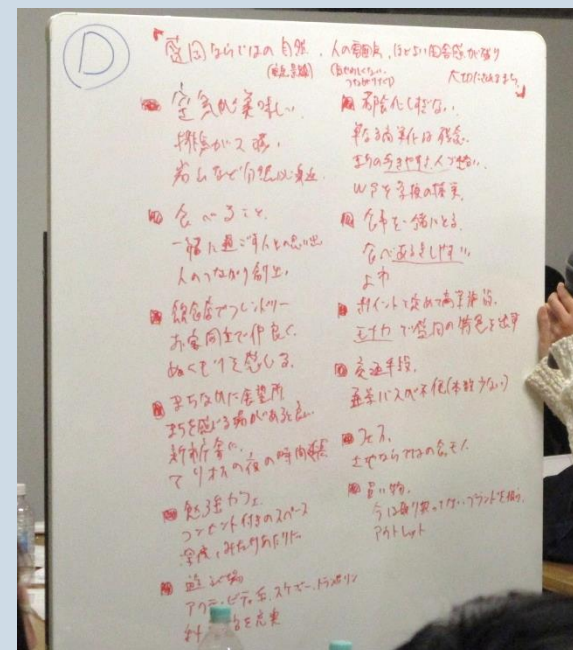
4 意見概要

- 担い手不足やつながりの希薄化、少子高齢化による将来への不安の発言が多かったです。
- 生活環境に関しては、個別具体の困りごとがいくつかありましたが、その困りごとは地域全体の課題につながるものであり、その解決・解消が計画・施策に反映される意見もありました。
- 世代間の意識格差も感じられる分野もありましたが、その根底には理解不足、知識不足があると推察されます。
- 福祉分野の方が参加した回では、当事者及び支援者が感じる不公平感や不便さが浮き彫りとなりました。その課題への直接的な対応策だけではなく、間接的な働きかけなどを明文化することの重要性の意見もいくつかありました。
- 中高生が参加した回では、現在取り組んでいる活動から広く市民に知ってもらう、参加してもらうための具体的なアイデアや斬新な視点による地域活性化のアイデア、自分たちも市民も楽しくなるイベントなど多くの意見が出ました。
- 大学生が参加した回は、盛岡が好き、地元が好きといった地域への愛情がありながら、就職という人生のターニングポイントでの選択について様々な意見がありました。
- 全体を通して、総体的に盛岡の現状・生活に満足している人が多いのではないかと思います。
- 個別具体には様々な課題がありますが、その多くは理解不足、コミュニケーション不足が根底にあり、市民側も主体的に取り組むことが大事ではないかとの意見もありました。

次期盛岡市総合計画にむけて～意見交換

将来像	基本目標	課題	うまくいっている事	今後の取組項目
ひと・まち・未来が輝き	人がいきいきと暮らすまちづくり	高齢者の生活支援 若者の生活支援 子育て支援	子育て支援 高齢者の生活支援 若者の生活支援	子育て支援 高齢者の生活支援 若者の生活支援
世界につながるまちづくり	盛岡の魅力がふれるまちづくり	観光振興 産業振興 文化振興	観光振興 産業振興 文化振興	観光振興 産業振興 文化振興
人々を育み未来につなぐまちづくり	教育・文化・スポーツの振興	教育・文化・スポーツの振興	教育・文化・スポーツの振興	教育・文化・スポーツの振興
人が集い活力を生むまちづくり	都市再生 農村再生 地域再生	都市再生 農村再生 地域再生	都市再生 農村再生 地域再生	都市再生 農村再生 地域再生

ポスターセッション形式で意見をまとめ
 現行の盛岡市総合計画の基本目標ごとに、「うまくいっている事」「今後取り組んでいくこと」に意見・アイデアを大別しました。



対話型自治体シミュレーションゲームでまとめたをホワイトボードに書き込み
 各グループごとに市の〇〇部長の役目になり、各分野の施策を議会役に提言しました。

市民フォーラム開催結果 【概要】

1 はじめに

盛岡市では、令和7年度を始期とする次期盛岡市総合計画の策定に向けて、計画策定に向けて市民の皆さんに総合計画を知っていただき、策定に向けた機運の醸成を図ることを目的として、市民フォーラムを開催するもの、ワークショップを開催しました。

タイトル

『もりおか未来創造フォーラム ～次期総合計画の策定に向けて～』

2 開催日時等概要

- 開催日時
令和6年2月17日（土）午後1時30分～4時30分
- 会場
プラザおでって おでってホール
- 参加人数
133人（募集定員 150人）

3 内容

1 基調講演

「盛岡市の未来 ～市民とつくる 持続可能なまち～」
株式会社日本総合研究所主席研究員 藻谷 浩介 氏

2 パネルディスカッション

「市民が描く未来 ～盛岡の魅力と 持続可能なまちとは～」
《コーディネーター》
株式会社日本総合研究所主席研究員 藻谷 浩介 氏
《パネリスト》
肴町商店街振興組合理事長 佐々木 健二 氏
株式会社NoMaDoS取締役 千葉 光 氏
株式会社ヘラルボニー
岩手コミュニティマネージャー 矢野 智美 氏
盛岡大学文学部英語文化学科 中道 はるか 氏
盛岡市立高校普通科 長岡 剣汰 氏

3 会場意見交換

4 開催概要

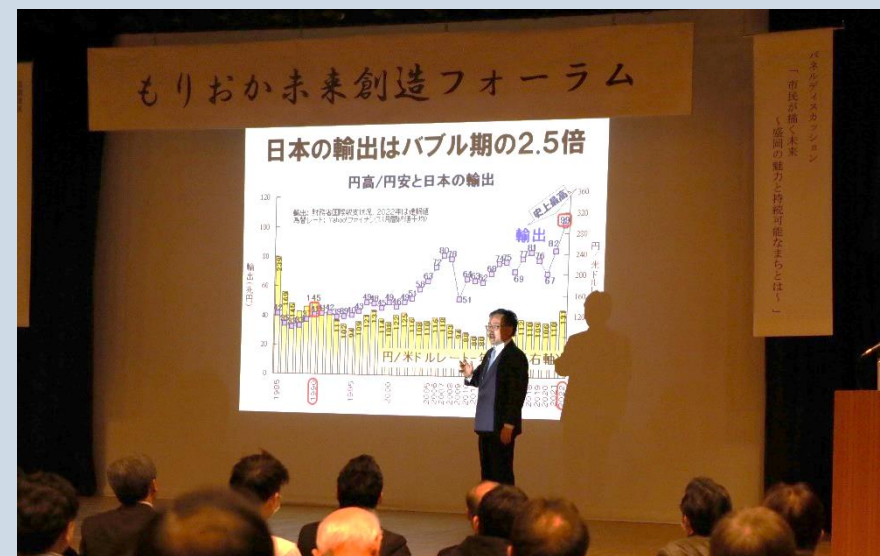
基調講演

「盛岡市の未来 ～市民とつくる 持続可能なまち～」
株式会社日本総合研究所主席研究員 藻谷 浩介 氏

●昭和の時代の常識を疑い、高層ビルや東京のような開発への幻想を捨て、地域が持つ強みを活かしながら持続可能な都市、点とネットワークの構成が重要です。

●高齢化が進む都市部について医療・介護費を逼迫していると現状を説明。一方で、地方は高齢者の人口も減っていくことから医療や介護の負担も減るメリットもあり、このメリットをどう生かすかが今後まちづくりを進める上で重要と指摘しました。

●スライドを用いて客観的事実となるデータを示しながら、クイズを交えつつ来場者とやりとりを行いながら進行し、参加した市民の皆さんも盛岡市の現状への理解を深めました。



データを示しながらの講演



クイズに答える会場参加者

4 開催概要

パネルディスカッション

「市民が描く未来 ～盛岡の魅力と 持続可能なまちとは～」

- 盛岡市内を中心に各分野でまちづくりに取り組む方、高校生・大学生にパネリストとして登壇していただきました。
- まちづくりに取り組む方からは、地方だからこそできる事業の可能性を話していただきました。また、1、Uターンした経験から盛岡の魅力・強みを語っていただきました。
- 高校生・大学生からは、盛岡の好きなところを話していただき、今より多様な進路や雇用の場を求める意見をいただきました。

5 意見概要

会場参加者から、次のようなまちづくりへの意見がありました。

- 盛岡独自のサイズ感と温度感を持ちながらも、新しい価値観を創造するために、市民が意見を出しやすいようにする。
- 自家用車がなくても生活しやすい、人口密度の高い街づくり。
- 市役所と市民とのつながりをより活発にする。
- 若者が自由に活動できる環境の整備。
- 既存の施設や店舗をどう生かしていくかを重視した街づくり。
- 観光スポットへのアクセス向上策。
- 市内各所にファミリー農園を設置するなど、余暇の充実。



データを投影しながらのディスカッション



若者を中心としたパネリスト